

- 問1 京都の宇治にある平等院鳳凰堂は、藤原頼通によって造営された阿弥陀堂であり、極楽浄土の様子を表現した優美な建築様式で知られている。この建物がつくられた時期の政治の特徴として、最も適切なものはどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 天皇が幼いときは摂政、成人後は関白として実権を握った
 2. 天皇中心の国づくりを目指し、公地公民制を導入した
 3. 征夷大將軍が、御家人と御恩と奉公の関係を結んで政治を行った
 4. 天皇の位を譲った上皇が、院庁を開いて政治を行った
- 問2 日本の歴史において、7世紀から12世紀頃までの飛鳥時代、奈良時代、平安時代を一括りにする時代区分を何と呼びますか。歴史の大きな流れを整理した分類に基づいて答えなさい。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
1. 近代
 2. 中世
 3. 近世
 4. 古代
- 問3 平安時代中期、社会への不安を背景に「阿弥陀如来を信じれば、死後に極楽浄土へ生まれ変わることができる」という浄土信仰が広まりました。この信仰に基づき、摂政ののちに関白となった藤原頼通が、極楽浄土の様子を再現しようとして宇治に建立した代表的な阿弥陀堂を選びなさい。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 東大寺大仏殿
 2. 唐招提寺金堂
 3. 中尊寺金色堂
 4. 平等院鳳凰堂
- 問4 平安時代、都である平安京と地方を結ぶ道路は、国家運営を支える税を運搬するために重要な役割を果たしていました。このとき、地方の特産物や、労役の代わりとなる布などを農民が自ら都まで運んでいた税の仕組みを何と呼びますか。 (2024年 広島県公立入試 類似)
1. 調・庸
 2. 地租・物納
 3. 公事・夫役
 4. 租・正税
- 問5 894年に、唐の国内情勢の混乱や往復する航路の危険性を理由として、遣唐使の派遣が停止されました。この政策転換を主導した人物と、その後発達した日本独自の文化の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 菅原道真 — 国風文化
 2. 小野妹子 — 飛鳥文化
 3. 阿倍仲麻呂 — 天平文化
 4. 最澄 — 弘仁・貞観文化
- 問6 日本史の出来事を時系列に並べた際、894年の遣唐使の廃止より後で、かつ、藤原氏を外戚としない後三条天皇の即位（親政の開始）より前の時期に該当する出来事として最も適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 平清盛が太政大臣になり、武士として初めて政治の実権を握った。
 2. 聖徳太子が摂政になり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。
 3. 藤原道長が摂政になり、摂関政治の全盛期を築いた。
 4. 白河上皇が院政を開始し、天皇に代わって政治を行った。
- 問7 平安時代初期、桓武天皇のもとで「軍事」と「造作」という二つの大きな事業を継続するかどうかの議論が行われました。「造作」が平安京の造営を指すのに対し、「軍事」とは、東北地方で朝廷の支配に抵抗を続けていた人々を平定するための戦いを指します。この、東北地方で朝廷に抵抗した人々の呼称として正しいものはどれですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
1. 和人
 2. 防人
 3. 御家人
 4. 蝦夷
- 問8 1086年から始まった院政の時期、上皇は自身の権力を支えるために、独自の軍事組織や政治基盤を整えました。これに関する当時の状況として正しい記述はどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 「北面の武士」と呼ばれる独自の軍事力を組織し、自らの身辺警護や寺社の強訴を防がせた
 2. 「内閣」を組織し、国務大臣を選任することで近代的な議会政治の準備を進めた
 3. 「班田収授法」を厳格に実施し、公地公民の原則に基づく律令国家の再建を目指した
 4. 「執権」という役職を新たに設け、北条氏に政治の実務を代行させた
- 問9 平安時代の中期には、遣唐使の廃止などを背景として、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達しました。この時期、漢字を簡略化した「かな文字」を用いて紫式部によって執筆され、当時の華やかな貴族社会の様子を題材とした物語文学を選んでください。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 万葉集
 2. 枕草子
 3. 源氏物語
 4. 平家物語
- 問10 894年の遣唐使停止から、1086年の院政開始までの期間における出来事として、当時の文化の特色を反映している最も適切な説明はどれですか。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
1. 唐の律令にならい、全国を統治するための基本的な法体系である大宝律令が完成した。
 2. 紀貫之らが中心となり、仮名文字も用いて最初の勅撰和歌集である古今和歌集がまとめられた。
 3. 江戸時代の元禄文化の中で、松尾芭蕉が独自の俳諧を確立し、紀行文の奥の細道を記した。
 4. 北条泰時が武士社会の慣習をまとめ、裁判の基準とするための御成敗式目を制定した。
- 問11 平安時代から鎌倉時代にかけての歴史を整理した際に、1156年の保元の乱や1232年の御成敗式目の制定よりもさらに以前、9世紀初頭（800年代前半）の出来事として適切なものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 坂上田村麻呂が東北地方に派遣され、蝦夷の抵抗を抑えた
 2. 源頼朝が征夷大將軍に任命され、鎌倉幕府を確立した
 3. 白村江の戦いにおいて、日本が唐・新羅の連合軍に敗北した
 4. 藤原純友が瀬戸内海の高橋を率いて朝廷に対して反乱を起こした
- 問12 平清盛が政治の実権を握るに至った経緯について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 保元の乱などで上皇と対立した後、白河天皇に従って戦い勝利を収めた後、太政大臣に上り詰めた。
 2. 関東地方で反乱を起こして自ら新皇と称し、東国の政治の実権を握った。
 3. 瀬戸内地方で海賊を率いて反乱を起こし、朝廷を圧迫して太政大臣の位を得た。
 4. 東北地方の奥州藤原氏を滅ぼして勢力を伸ばし、朝廷から太政大臣に任命された。
- 問13 894年に遣唐使が停止されたことを一つの契機として、10世紀頃の日本では、それまでの大陸文化を基礎としながらも日本の風土や生活、日本人の感情に合わせた独自の文化が発達しました。この文化の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. 弘仁・貞観文化
 2. 国風文化
 3. 桃山文化
 4. 天平文化
- 問14 平安時代初期に最澄が伝えた天台宗などの新しい仏教は、奈良時代の仏教が政治と密接に関わりすぎた反省から、どのような特徴を持って展開されましたか。最も適切な説明を選んでください。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 唐から来日した高僧が、僧侶が守るべき正しい戒律を授ける制度を整えた。
 2. 阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えれば、誰でも極楽浄土へ行けると説いた。
 3. 橋の建設やため池の築造などの社会事業を行い、民衆の間で直接布教した。
 4. 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈った。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天皇が幼いときは摂政、成人後は関白として実権を握った	平等院鳳凰堂が建立された平安時代中期は、藤原道長・頼通父子による摂関政治の全盛期でした。この政治体制では、天皇の母方の親戚（外戚）となることで権力を維持しました。他の選挙はそれぞれ、院政（平安時代末期）、鎌倉幕府の政治、大化の改新（飛鳥時代）に関する説明です。
問2	答え 4 古代	日本の歴史における時代区分では、天皇や貴族を中心とした政治が行われていた飛鳥時代から平安時代までを「古代」と呼びます。12世紀末に鎌倉幕府が成立し、政治の実権が貴族から武家へと移ることで、次の「中世」へと区分が変化します。この時代区分は、政治体制や支配層の変化を基準に考えられています。
問3	答え 4 平等院鳳凰堂	平安時代、貴族たちは「末法思想」による社会不安から、死後の救済を求めて阿弥陀如来を本尊とする阿弥陀堂を盛んに造営しました。藤原氏の全盛期を築いた藤原頼通による平等院鳳凰堂は、当時の建築・彫刻・工芸の粋を集めた浄土信仰の象徴的な遺構です。
問4	答え 1 調・庸	桓武天皇によって整備が進められた平安京の維持には、地方からの安定した税収が不可欠でした。特に「調」は地方の特産品、「庸」は都での労働の代わりに布を納めるもので、これらを都まで届ける負担は農民にとって非常に重いものでした。
問5	答え 1 菅原道真 — 国風文化	菅原道真は、唐の衰退という国際情勢を的確に判断し、遣唐使の停止を建議しました。これにより大陸文化の直接的な影響が薄まり、日本の風土や感性に合わせた「国風文化」が花開くこととなりました。かな文字の発明や、住居様式の寝殿造などはその代表的な例です。
問6	答え 3 藤原道長が摂政になり、摂関政治の全盛期を築いた。	平安時代は、遣唐使の廃止による国風文化の発展、藤原氏による摂関政治、上皇による院政、そして武士の台頭という流れで進みます。道長の活躍は11世紀初めであり、遣唐使廃止（9世紀末）と後三条天皇による親政や白河上皇の院政（11世紀後半）の間に位置します。平清盛の活躍はさらにその後の12世紀のことです。
問7	答え 4 蝦夷	桓武天皇の時代、朝廷の支配に従わない東北地方の人々は「蝦夷（えみし）」と呼ばれていました。彼らを平定するための「軍事」と、平安京を造る「造作」は、どちらも莫大な費用と人手を要したため、国家財政や民衆に大きな負担をかけました。最終的に「徳政論争」と呼ばれる議論を経て、これらの事業は中止されることとなりました。
問8	答え 1 「北面の武士」と呼ばれる独自の軍事力を組織し、自らの身辺警護や寺社の強訴を防がせた	院政を行う上皇は、自らの権力を支えるために「院の近臣」と呼ばれる側近や、「北面の武士」という警護組織を配置しました。この北面の武士には、次第に平氏や源氏といった有力な武士が登用されるようになり、院政期における武士の社会進出を促すきっかけの一つとなりました。
問9	答え 3 源氏物語	平安時代中期、遣唐使の停止により大陸の影響を消化した独自の「国風文化」が花開きました。この時期に発明された「かな文字」は、漢字では表現しきれない日本人の繊細な感情を記すことを可能にし、宮廷に仕える女性たちによる文学が隆盛しました。紫式部によるこの作品は、光源氏を主人公に貴族社会の恋愛や栄華、無常観を描いた、世界最古級の長編物語として知られています。
問10	答え 2 紀貫之らが中心となり、仮名文字も用いて最初の勅撰和歌集である古今和歌集がまとめられた。	894年の遣唐使停止から院政開始までの時期は、摂関政治が全盛を極め、日本独自の「国風文化」が栄えた時代です。この時期、漢字を簡略化したかな文字が普及し、女性による文学や、紀貫之らによる古今和歌集が成立しました。御成敗式目は鎌倉時代、大宝律令は飛鳥・奈良時代の転換期、奥の細道は江戸時代の出来事であり、時期が異なります。
問11	答え 1 坂上田村麻呂が東北地方に派遣され、蝦夷の抵抗を抑えた	坂上田村麻呂の活動は平安時代初期の800年代初頭（9世紀初頭）に該当します。これは武士の勢力争いが本格化する保元の乱（12世紀中頃）や、鎌倉幕府の成立よりも前の出来事です。藤原純友の乱は10世紀、白村江の戦いはさらに古い7世紀の出来事であるため、時系列として条件に合致するのは坂上田村麻呂に関する記述です。
問12	答え 1 保元の乱などで上皇と対立した後白河天皇に従って戦い勝利を収めた後、太政大臣に上り詰めた。	平清盛は12世紀半ばの保元の乱などで後白河天皇側について勝利を収め、武士として初めて太政大臣に任じられました。関東地方での反乱（平将門の乱）や瀬戸内地方の反乱（藤原純友の乱）、奥州藤原氏に関する記述は誤りとなります。
問13	答え 2 国風文化	菅原道真の建議により遣唐使が廃止されたことで、中国（唐）との直接的な交流が減少しました。その結果、それまでに取り入れた大陸文化を日本人の感性に合うよう消化・再構成する動きが強まり、日本独自の「国風文化」が形成されました。この時期は貴族が政治の中心であったため、貴族の生活様式を反映した文化が中心となっています。
問14	答え 4 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈った。	奈良時代の仏教が政治に介入し混乱を招いたことを受け、平安時代初期の仏教は比叡山（天台山）や高野山（真言宗）といった山の中に拠点を置きました。これらは密教的な要素を含み、加持祈祷によって国を守る「鎮護国家」の役割を担い、貴族の間で深く信仰されました。